

◎ゴビウスで工作！生きもの変わり絵をつくろう

宍道湖自然館ゴビウスで9月21日・22日・23日の午前9時30分から午後4時まで（最終受付3時45分）。

オリジナルの用紙を組み合わせて、ひっぱると絵が変わるしかけ「生きもの変わり絵」を作ります。変わり絵のテーマはオタマジャクシからカエルになるなど、成長すると姿が全く変わる生きものたち。全5種類の中から一つ選ぶことができます。定員は各日先着100人。作成用紙は1枚100円（別途入館料が必要）。問い合わせは同館（電話 0853・63・7100）まで。

◎秋の写生大会

しまね花の郷で9月21日・22日の午前9時30分から午後4時30分まで。随時参加。画用紙は配布しますが、画板、画材は持参。参加費無料（要入園料）。申し込みは同園（電話 0853・20・1187）まで。

◎秋の星空ランプシェードをつくろう

出雲科学館で9月21日・22日・23日・28日・29日の午前10時30分、午後1時30分、3時30分から。自分で穴をあけて、秋の星空をイメージしたランプシェードを作ります。プラネタリウムで秋の星座も観察します。料金は無料。定員は各回先着24人。小学3年生以下は2人までにつき保護者1人同伴。当日整理券を配布。問い合わせは同館（電話 0853・25・1500）まで。

◎さんべの森たんけんたい～秋の森であそぼう～

北の原キャンプ場で10月6日の午前10時から午後2時まで。キャンプ場内のどんぐりを拾ってどんぐりコマ作りに挑戦します。だれが1番長く回せるか、どんぐりコマ大会も開催。お昼ご飯はたき火で調理をして食べます。定員は親子8組（幼児～小学校低学年を含む家族対象）。申し込みは1カ月前からできます。問い合わせは三瓶自然館サヒメル（電話 0854・86・0500）まで。

◎星空観察を楽しもう 10月の星空・月・土星

出雲科学館で10月12日・13日の午後6時30分から8時30分まで。10月の夜空に見える星座をさがしてみましょう。天体望遠鏡で月や土星の観察もします。料金は無料。定員は各日10組（1組5人まで）。対象は小学生から大人（小学生は保護者同伴）。同館のホームページから応募できます（応募締め切りは9月29日）。問い合わせは同館（電話 0853・25・1500）まで。

◎父と子のそば打ち体験講座

平田ふれんどリーハウスで10月20日の午後3時から6時まで（受付は2時30分から）。親子一緒にそば打ち体験を楽しみませんか？ そば店の店主が指導します。日頃、なかなか子どもとふれあう時間がとれないお父さんにも、参加してほしいと企画。対象は父親と小学生（1家族につき小学生1人）。定員は4組（申し込み多数の場合は抽選）。参加費は1組1500円。講師はそば処 喜多縁の店主・岡敏和さん。申し込みは10月2日まで。問い合わせは平田ふれんどリーハウス（電話 0853・63・3728）まで。

◎出雲市市制施行20周年記念 長沼毅氏講演会 「鉄といのちの物語 謎とき風土サイエンス」

出雲科学館で10月26日の午後1時30分から3時30分まで（講演90分、質疑応答30分）。出雲地域に関連の深い「たたら」や「ヤマタノオロチ伝説」に触れながら、身近な鉄がどこからやって来たのか、私たちの生活にどのような影響を与えているのかについて話されます。講師は広島大学大学院総合生命科学研究科教授の長沼毅さん。入場無料。定員は170人。対象は小学4年生以上。同館のホームページから応募できます（応募締め切りは10月13日）。問い合わせは同館（電話 0853・25・1500）まで。

◎期間展示「わいるどらいふっ！～4コマで知る、身近な野生生物～」

三瓶自然館サヒメルで10月26日から12月8日まで。身近に生息している野生生物を4コマ漫画で紹介する「わいるどらいふっ！身近な生きもの観察図鑑」の作品と、はく製や標本などを合わせて展示。意外と知られていない野生生物の生態とその魅力を紹介します。問い合わせは同館（電話 0854・86・0500）まで。

れきはく 古代出雲歴史博物館

おしえて!学芸員さん

Vol.64

このコーナーでは、みんなが疑問に思うことに学芸員さんが分かりやすく答えるよ！今回は多伎小学校6年生の反田 莉乃彩さんからの質問だよ！

伊勢神宮は「神宮」で、出雲大社は「大社」なのは、なぜですか？

もともと、伊勢神宮（内宮）は「皇太神宮」、出雲大社は「杵築大社」という名前と呼ばれ、なかには千年以上も前に書かれた書物にも記録が見えます。このように「神宮」「大社」という呼び方は非常に古いものですが、どのような理由で区別されていたのかは実のところはっきりと分かっていません。

伊勢神宮は天皇やその一族の祖先神をまつているのに対して、出雲大社は国づくりをおこなった大国主神をまつっており、由緒や性格などが大きく異なります。このあたりに「神宮」と「大社」が使い分けられた理由を考えるカギがあるのかもしれない。

自己紹介 ★ 専門は日本古代史で、奈良時代から平安時代の地方行政について研究しています。

★このコーナーでは、小学生の皆さんからの質問を募集しています。質問はメールがハガキで！写真の掲載も希望の場合、メールで、質問してくれたキミの写真も添えて送ってね！かならず①お名前②フリガナ③学年④郵便番号⑤ご住所⑥電話番号⑦メールアドレス⑧質問を書いてね。

メールのあてさき henshu@shimanenichinichi.co.jp

ハガキのあてさき 〒693-0001 出雲市今市町743-22 島根日日新聞社「小学生新聞・れきはくコーナー」係

この「小学生新聞」持参で来館すると特典あり！

掲載された人には年間パスポートをプレゼントするよ！

※応募をもって個人情報の提供に同意したものといたします。